

#### 講演者略歴

◆Ms. Montserrat Palauelmàs Carles (スペイン・カタロニア州農業食品研究開発研究所・研究員)

モンセラート・パラウデルマス・カリレス氏

2005年、バルセロナ大学にて生物学で学士号を取得後、IRTA (Institut de Recerca i Tecnologia Agroalimentàries)において「遺伝子組み換え作物と従来作物との共存」について博士課程研究を開始しました。また、同時に「欧州における遺伝子組み換え作物のヨーロッパ農業への持続可能な導入プロジェクト」(通称 SIGMEA)、更に、スペインの国家プロジェクトであるトウモロコシの「共存」についての研究、従来トウモロコシ畑における遺伝子組み換えトウモロコシの偶発的な混入を最小限にするための戦略に関する研究に携わっています。

※主要研究論文

“Pollen-mediated gene flow in maize in real situations of coexistence” (共存の実際におけるトウモロコシの花粉飛散による遺伝子伝播) *Plant Biotechnology Journal*. 4:633-645 (2006年)

“Assessment of real-time PCR based methods for quantification of pollen-mediated gene flow from GM to conventional maize in a field study.” (圃場試験における遺伝子組み換えトウモロコシから非組み換えトウモロコシの花粉飛散による遺伝子伝播に関するPCR評価) *Transgenic Research*.15:219-228. (2006年)

◆Mr. Juan Antonio Claveria Morant (スペイン農業生産者)

フアン・アントニオ・クラベリア・モラント氏

農業生産者。レリダ大学にて農業技術で学士号を取得、またナヴァラ大学 IESE 経営大学院にてビジネスを学びました。1987年から、スペイン北部のウエスカ県、サラゴザ県、ソリア県における著名な農業関連企業、Calverroc, S.A の取締役就任しています。